

公務員キャリア科目担当者研修および説明会に参加させていただき、様々な事を勉強させていただきました。この中で、午前中に行われた公務員試験における面接対策について、中島総長先生にご指導いただいた内容を中心に感想を述べたいと思います。

まず、中島総長先生からご指導いただいた内容の中で、私が最も重要と感じた内容は、「基本を外さないこと」でした。この点については、中島総長先生も繰り返し徹底されてご指導されており、面接対策の指導において、あらゆる場面でその重要性を認識させていただきました。

中島総長先生のご指導としては、基礎があってこそ応用ができるため、基本的な事を暗記させることがまず重要というご説明がありました。

途中、田中雄祐先生が「暗記したものを読んでも印象を受ける学生もいる」というご意見もあり、私も経験上、そういった学生を数多く見てきましたが、これに対して中島総長先生から、「生徒に理解させて暗記すること」の重要性をご説明いただきました。

単純に暗記するだけなら、確かにただ読み上げるだけになってしまい逆効果であるが、「理解させる」という一言があるかどうかで大きく異なってくる、ということでした。この点については、グループワークの形で実際に3名が互いに面接官となり質問し合う中で、面接される側に立って受け答えをすることで痛感することになりました。

暗記した内容を軸に、自分なりの経験に当てはめて回答することで、スムーズに受け答えができるようになるだけでなく、質問に対するポイントを外すことなく、的確な対応ができるようになりました。

学生にポイントを暗記させ、それを確認するためにグループで作業を行い、知識を定着させていき、最後にまた暗記、という流れを学生側に立って経験させていただくことで、非常に効果的な指導方法であることを認識することができました。

生徒に理解させて暗記することを行い、さらに、本当に理解できているかどうかを確認しながら、進めること、具体的には、分かっていなさそうな学生を指名してできるようにすることで、学生の気分を乗せ、理解して満足させる、ということを徹底しながら、半分の受験者が落とされる面接試験を無事乗り切れるよう学生を指導して参りたいと存じます。

今回の研修で中島総長先生からいただいた数々の指導内容を再度見直し、実践していくことで、一人でも多くの学生を合格させられるよう尽力致します。